

革新的構造材料 自己点検結果

#	審査の視点 (平均点) 外部専門家のコメント	対応状況	理由
1	<p><u>研究開発の内容の重要性、妥当性 (2.0点)</u></p> <p>①政治的に資金を集めたしわ寄せが来ないように、公募をしっかりやって欲しい。事業目的にあったテーマ設定が必要。</p> <p>②日本の強みでもある素材技術の強化を体系的に進める点は大いに評価できる。また、単に技術開発ではなくそれぞれの出口を明確に描くスキームも評価できる。それぞれの出口産業でのコミットをどうとるか工夫をお願いしたい。</p> <p>③出口として航空機に着目したことは良い選択。日本の航空機用材料の市場は小さいが技術の最先端に取り組むことは重要。国として航空機産業を伸ばすべき。波及効果も大きい。</p>	<p>①検討継続中</p> <p>②検討継続中</p>	<p>①具体的な方策については、公募提案を待ってからとなるが、審査体制の検討等、事前に準備を進めたい。</p> <p>②具体的な方策については、公募提案を待ってからとなるが、出口部分を担当する企業選別を重視したい。</p>
2	<p><u>実用化・事業化への戦略性 (0.7点)</u></p> <p>①マテリアルズインテグレーションで中小企業の光る技術を上手く取り入れるべき。他分野への展開応用など効率よい産業化、高度な加工技術の育成、人材育成など中小企業の加工技術の底上げ、を目指して欲しい。</p> <p>②航空機が出口の一つとなっているが、標準・認証・品質保証まで考慮すべき。</p> <p>③Technology readiness levels(TRL)を参考に材料ごとの目標とタイムスケジュールを作って欲しい。また、TRLでレベルを上げていく時の最大の障壁はコスト。コスト低減の努力もいずれかの段階ですべき。</p>	<p>①検討継続中</p> <p>②検討継続中</p> <p>③検討継続中</p>	<p>①マテリアルズインテグレーションは高度な専門的知識が無くても利用できるユーザーインターフェイスを考える等、幅広いユーザーに対応できるように努めたい。</p> <p>②開発対象とする部材により、研究開発ステージが異なる。開発材料の置かれている状況に応じて、それぞれの技術開発項目の中で、標準・認証・品質保証等の対応は検討課題に含まれている。</p> <p>③個別の部品としてのコストと、総合的なコストなどを考慮しなければならないと考えている。引き続き検討事項としたい。</p>
3	<p><u>組織間連携 (産産、産学、府省) の有効性 (1.0点)</u></p> <p>①試作委託などの制度により大学と中小企業の連携を上手く機能させてほしい。</p> <p>②金属、樹脂、セラミックの分野で様々な学会があるが、企業の参加が減って衰退が進む学会もある。JSTを通してこれらの学会の活性化もかねて、技術のすそ野を広げることと、あわせて本分野の人材育成も行うべき。</p> <p>③府省連携、産学官連携を上手く進める取組が必要。内閣府中心に検討をお願いしたい。</p>	<p>①検討継続中</p> <p>②検討継続中</p> <p>③検討継続中</p>	<p>①限られた時間、限られたターゲットの中で中小企業との連携を取りつつ行う研究開発は、直接は難しいかもしれない。しかし、将来の連携については企業も含めて考慮するように努めたい。</p> <p>②マテリアルズインテグレーションの中にある、インテグレーション自体の開発や拠点形成は材料の壁を越えた活性化や人材育成にも有効に作用すると考えている。</p> <p>③研究を効率的に推進するための体制・仕組みについてはまさに検討中であり、継続して検討を進めたい。</p>
4	<p><u>その他特記事項</u></p> <p>①未来開拓とSIPで我が国の構造材料全体の将来ビジョンを描いて欲しい。同じリーダーなので、二つのプロジェクトの情報共有を上手く進めて欲しい。</p> <p>②現場の自由な発想を生かすために、構造材料の枠内で、ある程度自由な用途の予算をつけるべき。ガチガチの予算管理では思わぬ発見は起こらない。</p> <p>③学を上手く連携させるためには、論文中心の評価法を変えるべき。すなわち、開発段階(TRL4~6)に対する寄与度も加えて評価することが必要。</p>	<p>①検討継続中</p> <p>②検討継続中</p> <p>③検討継続中</p>	<p>①情報共有に努め将来ビジョンの実現に努めたい。</p> <p>②公募の中で、新たな発想の提案を受け入れられる枠を検討中。</p> <p>③評価の方法についても各省との連携で検討したい。</p>

※点数は以下を基準にしています。

0点:改善が必要なもの

1点:妥当であるもの

2点:優れているもの